

回覧

地域再生 協議会だより

百合が丘 2 - 29 - 6 (老人憩いの家) 59 - 9356 (火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

広域化へのワンステップ

地域づくりシンポ 「新年度から取り組む」(村田町長)

再生協議会は 17 日 (日)、二宮町と共催で「地域づくりと活性化」をテーマにシンポジウムを開いた。第 1 部で名和田是彦法政大教授は「単位自治会を超えた枠組みで課題に取り組むことは重要。小学校区は一つの括り方だ」。第 2 部では、町内の 3 団体の代表が持論を述べ、村田邦子町長は「人口減は避けられない。新年度から地域と力を合わせて取り組む」と語った。



名和田教授

このシンポは、再生協議会が発足 3 年を迎え、改めて「地域活動の広域化」を考える狙いで企画された。会場の町民ホールには、町内 20 地区から地区役員など 145 人が集まった。

第 2 部のパネル討論では、脇一男地区長連絡協議会会長が「31 年度は、広域化への問題意識をさらに発展させる」。町外からの移住に取り組む高見利和氏は「若い層は地域よりもテーマ別の活動に関心がある」と発言。

一方、再生協議会の廣上事務局長は現在展開中の多様な事業活動を紹介したうえで、「小さな地区組織では取り組めない課題を取り上げてきた。この路線をもっと強めたい」と語った。

参加者に「地域づくりに向け、最も優先して取り組むべきこと」をアンケートで聞いたところ、「自治会など地域団体の連携強化」



村田町長と地域団体代表

「地域団体の事業見直し、効率化」「町内 20 地区の再編」がそれぞれ回答の 2 割前後を占め、改革に向けた意識の高まりが明らかになった。

「議会だより」の協議会活動記述

松崎議員に誤りの訂正求める

「訂正の必要なし」との回答

再生協議会は、「湘南にのみや議会だより」12 月定例号に掲載された松崎健議員による記述が事実とは全く異なることから、同議員と掲載した「議会だより」に対し、訂正を求めた。誤りとしたのは、「(協議会活動が) イベントの開催に軸を置き」「問題提起されていた

(交通弱者対策)が却下されている」など、松崎議員が昨年12月の町議会の一般質問で取り上げた記述3カ所。3月8日付けで訂正を求める文書を送付した。これに対し、松崎議員からは「町などの説明に基づいたものであり、訂正の必要はない」、町議会からは「当該議員の判断を待って対応したい」旨の回答があった。

これらの回答に対し岡村昭寿会長は、「協議会の活動自体を俎上に乗せるにもかかわらず、事実確認をしていない。すぐわかることすら確認せず、協議会の信用に傷をつけたのは極めて遺憾だ」としている。

協議会が主要役員と協議のうえで訂正申し入れに踏み切ったのは、町、県公社と協力して続けてきた地域課題への取り組みについて重大な事実誤認があり、活動そのものを歪めて伝えているとの判断から。こうした誤った記載が、「議会だより」という公的媒体に載り、町内全世帯に配布されたことも重大視した。同誌が配布された2月末以後、部会活動参加者から問い合わせや対応に関し、意見が相次ぎ寄せられている。

松崎議員の記述のうち、当方が訂正を求めた箇所(下線部)とその理由、同議員の回答は以下の通り。(H31年2月25日発行の「湘南二宮議会だより」8頁参照)

Q 「なぜ、イベントの開催に軸を置き (①)、前述の地域課題解決に不可欠な交通弱者問題に取り組まないのか。問題提起されていたが却下されている (②)」

① (事実誤認の根拠) →協議会では学校連携など6つの部会がそれぞれ活動しており、イベントといえる大型行事はその一部。この3年間の活動の中心は、話し合いを含めた地味で小さな取り組みの積み重ねである。

(松崎議員) →小職の見解を述べた。

② (事実誤認の根拠) →協議会では住民、参加者が対等の立場で議論、知恵を出し合っており、「却下」などあり得ない。当然のことながら、たくさんの提案からテーマを絞り込む過程で賛同が少なく選択、採用されなかったものは他にもいくつもある。

(松崎議員) →当時の記録を確認したうえで発言した。却下されたためその後検討されていない。

Q 「どれだけの人がイベントへの参加を希望しているのか。(中略) イベントに参加するための交通弱者対策には賛成できない (③)」

③ (事実誤認の根拠) →31年度に、交通弱者対策を含めた移動支援検討部会を設けることを決めたのは昨年9月。部会活動は今年4月からスタートする予定であり、何をどう扱うかの議論はまだ全く行っていない。

(松崎議員) →議会での町当局、町長答弁にもとづく発言である。

5月末までの講座・催しスケジュール

- ・4/20(土) 依田久司氏(かながわ福祉移動サービスネットワーク副理事長)
「高齢者の外出支援を考える」
 - ・5/18(土) 原道子氏(町教育委員)「なぜ小中一貫校を目指すのか」
 - ・5/25(土) 岡野敏彦氏(日産自動車総研研究員)「どうなる? クルマの未来」
- 以上、一色小地域こうりゅうルーム 10:00~ 参加費 300円(資料代・運営費)

・5/4(土) 里山の山野草観察会 集合 9:30~ 参加費 300円

・5/26(日) 一色里山散策「みかん畑コース」 集合 9:00~

募集 20名 参加費 500円(傷害保険、試飲ワイン代)

問合せ 協議会事務局 ☎59-9356(火、金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp